

【施設効果事例】勝山谷川砂防堰堤（滋賀県米原市伊吹）

かつやまだにがわ

まいばらしいぶき

発災箇所：滋賀県米原市伊吹
 発災日時：令和8年6月26日 5時頃
 降雨状況：連続雨量 236mm、時間最大雨量 51mm
 ※上野雨量観測所
 （参考：令和6年被災時 連続 115mm、時間最大 34mm）
 施設名称：勝山谷川砂防堰堤
 （令和6年災を受けて、災害関連緊急工事で整備）
 効果：本溪流は、令和6年7月に3度の土砂流出があり家屋被災10件を含む大きな被害があったことから緊急に砂防施設を整備した。今回、令和6年被災時を上回る降雨があったが、新たに整備した砂防堰堤および応急土留め工で合計約1,300m³の土砂を補足し、人家85戸、避難所、県道2路線への土砂流出を防いだ。



R8.6.26 土砂流出後
 ※R6被災以来約2年ぶりの土砂流出



砂防堰堤
 約300m³の土砂を補足



参考 R6被災時

(R6被災当時)
 連続雨量 115mm
 時間最大雨量 34mm



R6.10 土砂流出前



R8.6.26 土砂流出後

応急土留め工
 約1,000m³の土砂を補足

R6被災後に緊急に整備した砂防堰堤と応急土留め工で、合計約1,300m³の土砂を補足し、下流集落等への土砂流出を防いだ。